

令和8年度 施設看取り研修会 アンケート集計結果

n = 131 (回収率:81.8%)

研修参加人数:160名

1. 所属エリアをお聞かせください。

・函館市	110	(84.0%)
・北斗市	15	(11.5%)
・七飯町	3	(2.3%)
・その他	3	(2.3%)

※木古内1名, 未記入2名

2. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	16	(12.2%)
・介護機関	111	(84.7%)
・障がい福祉	1	(0.8%)
・その他	3	(2.3%)

※未記入3名

3. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	2	(1.5%)
・薬剤師	1	(0.8%)
・保健師	1	(0.8%)
・看護師	26	(19.8%)
・ケアマネジャー	21	(16.0%)
・社会福祉士	1	(0.8%)
・相談員	12	(9.2%)
・介護職員	48	(36.6%)
・リハビリスタッフ	6	(4.6%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	9	(6.9%)
・相談支援専門員	0	(0.0%)
・就労支援員	0	(0.0%)
・生活支援員	0	(0.0%)
・その他	4	(3.1%)

※歯科医師1名, 管理栄養士2名, 未記入1名

4. 研修の内容は、ご自身が「知りたい」「学びたい」と思っていた内容に合っていましたか。

・はい	118	(90.1%)
・どちらともいえない	7	(5.3%)
・いいえ	2	(1.5%)
・未記入	4	(3.1%)

(理由をお聞かせください。)

【医師】

- ・施設で看取りに取り組む意識の高さを知ることができました。
- ・良い意味で想像と異なり, 前向きな発表をうかがえてよかったです。

【歯科医師】

- ・ 色々な施設の違いについて知りたかった。(業務範囲とか、提供サービスの種類について)

【看護師】

- ・ 他の施設の看取りが知る事ができた。
- ・ 各施設の看取りの対応や取り組みを知ることができてよかったです。
- ・ 看取りの数が(経験)少ないため、他の事業所がどのようにしているか知りたかったため。
- ・ 老健での看取りしか経験なかったのも、他施設の看取り(事例)など勉強になりました。IDリンクの活用知らなかったのも聞いてよかったです。
- ・ 看護師のいないところでの看取りに不安が大きいのに、どのように対応しているか学びたかった。一人ひとりの事例に向き合い、都度検討、共有しながら対応していたのがわかった。
- ・ 自分の施設が看取りがきちんとできているかの確認ができた。
- ・ 不安に思っていたのが、他施設でも同じケースがあることがわかった。
- ・ 看取りマニュアルの見直しをしているので、活かせる内容でした。
- ・ 自分がいるところは看取りをやっていないため、実際に行っているところの事例がきけてイメージができた。
- ・ 各施設の看取り状況がよく伝わってきた。職員も看取りをやりたいと思う気持ちが大切であると再認識できた。
- ・ 在宅も難しい中、施設の看取りは増えざるをえない。各施設の特性からの問題も分かった。グループホームの医療(訪看)入りづらいのは残念。サ高住は、幅広く、今後期待したい。職員さんの不安は当たり前だが、経験の中でよりよいケアをしたいとの思いに変わっているのは素晴らしい変化でした。
- ・ 4月より今の施設へ入職し、施設での看取り経験がなく不安がありました。看取りを立ち上げた時の現場の話が聞いてよかった。
- ・ 看取りの実際を学ぶ事が出来た。
- ・ 参考になることがたくさん学べました。もう少し、看護師から介護士へに看取り時の指示内容、具体例があればうれしかったかなと思いました。

【ケアマネジャー】

- ・ 看取りまでその人らしい最期をどのようにむかえるか学ぶことができました。
- ・ 現在、施設勤務ではないので最近の看取りがどのように行われているか知りたいと思いました。
- ・ 看取り介護開始の流れを知りたかったのも、とても勉強になりました。
- ・ 色々な施設の対応が聞いてよかったです。
- ・ 職の心がまえ、看取りに向けての手順などチームで関わっている様子が、わかりやすく聞く事ができた。
- ・ 各種別の施設での看取りについての取り組みを知りたかったから
- ・ サ高住併設の居宅介護支援事業所のため、勉強になりました。サ高住側へも情報提供したいと思います。
- ・ 施設により方法が別々なのがおもしろかった。
- ・ 色々な施設の事例がきけてよかったです。参考になりました。
- ・ 様々な種別の施設の話が聞け、イメージが広がった。
- ・ 看取りについてまだ関わったことがないので、看取りのイメージができた。
- ・ 特養勤務なので、特養の話がきけてよかったです。終末期に対しての家族へのアプローチが勉強になりました。
- ・ 今現在、現場スタッフ(ユニットスタッフ)の思いと同フロアスタッフとの間で同じ方向を向いていないため、とてもなく悩んでいたのも自分の気持ちが整理できました。
- ・ 施設看取りを色々学ぶことができて良かったです。
- ・ 各施設の看取りの実態を学ぶことができました。
- ・ 看取りの流れを知りたい。

【相談員】

- ・ 他施設の特徴を生かした看取りを知る事ができたため。また、取り組みをする事ができ、学びになりました。
- ・ 老健での多職種連携を活かした看取りケア
- ・ 看取りしていただける施設について、また特徴や取り組み、事例を聞くことができ大変参考になりました。
- ・ ドストライク
- ・ 研修会を開催する上での題材になった。

- ・私自身、母の看取りを特養で体験しています家族であり、そばに居たい一心で職員になり、家族であり職員で看取りを経験し、とても本内容は深かったです。
- ・他施設の取り組みを聞けてよかった。

【介護職員】

- ・看取り対応を行っている施設で働いていますが、まだ数名の経験しかないため理解を深めたいからです。
- ・他事業所では、どのような対応をしているか知ることができた。
- ・夜勤帯での看取り経験がこれまでなく、不安要素のひとつであったので、とても勉強になりました。
- ・現状の人手不足の中で他施設ではどこまで、どのような看取りケアを実施しているのか知ることができた。
- ・現に看取りケアを行っているが、自分や施設での不足な部分等、共通点を学べました。情報共有、連携は本当に大切だと再認識しました。
- ・自身が悩んでいたこと等、他施設の話聞き参考になりました。
- ・老健で看取りが増えている現状が知れた。連携がスムーズにできている施設もある事を知った。
- ・グループホームでの看取りについて、自身のホームでも看取りをしています、他のグループホームの看取りは研修会に参加しないと知りえないので、とてもよい研修でした。
- ・知らないことを知ることができて、良かったです。
- ・看取りに関わった事がないので、グループホームの方の話が聞けてよかったです。
- ・老健での多職種連携を活かした看取りケア
- ・現場の声や思い、ご家族の反応等の事例を確認できてよかった。
- ・他の施設の取り組みを知り、活かせる事はないか学びになった。
- ・他の施設の看取りに対する関わり方や職員への周知や研修等も知れてよかった。
- ・実際の看取りの事例がとても勉強になった。また父が亡くなった際「大切な方の旅立ちを支える皆様へ」という冊子をもらい説明を受けた。家族に亡くなる前に看取りについての説明もすごく大切だと思いました。
- ・老健でもこういう動きができるんだなと思いました。皆さんの思い素敵です。お疲れ様でした。
- ・ターミナルケアの現状
- ・職員同士の看取りの不安の除去していく。
- ・グループホームでの看取りについて、すごく勉強になりました。
- ・私の施設では看取りを行っていません。看取り開始からの全体の流れをととてもくわしく発表していただき、とても勉強になりました。
- ・看取りになると利用者の方に目が行きがちだったが、今回の研修で家族の不安や思いもコミュニケーションをとり共有する事も大切だと学んだ。
- ・同じ事でも繰り返し聞きたいと思います。以前、看取りを経験したが何度も他の話を聞く事も自分の不安がなくなると思った。
- ・今年度からターミナルを実施したため、問題点、改善点などを聞き参考になりました。
- ・自施設においても看取りを始めたばかりなので、取り組みや経過を異なる形態毎に学べたから良かった。
- ・看取りの経験が全くないため、話をきいてみて勉強になりました。
- ・他施設の対応の違いや施設ごとの思いやり、やりがいを知れた。
- ・他事業所、他施設のお話が聞けて参考になりました。
- ・施設看取りは、自分なりに理解していた。
- ・ほぼ同じ対応を行っている。
- ・ケアプランにからんだ看取りの話が聞きたかった。

【リハビリスタッフ】

- ・各事業所でできること、取り組んでいる内容を知れたこと
- ・老健施設勤務であるため、同じ老健施設の看取り対応について知る事ができて勉強になった。
- ・施設での看取りについて初めて知る事ができました。発表の皆さま、とてもわかりやすく感謝です。
- ・他職種目線の意見を多く聞けて勉強になった。
- ・酸素投与の件について、触れられなかった。

【管理栄養士】

- ・改めて他職種との連携が大切だと思いました。また、他施設での取り組みが聞けてよかったです。
- ・不安を感じる場所は皆一緒なんだと感じ、その対応方法を学ぶことができた。

【事務員】

- ・看取りケアというものを具体的に知りたかったので、良い機会でした。
- ・看取りとはほとんど関わりがなかったので実際の体験を交えて話をきけてよかったです。
- ・悩んでいるのは一人じゃないと思えました。

【その他】

- ・看取りを行っていない施設ですが、同グループ内での看取りについて知る事ができたり、種別ごとでの看取りに対する取り組みを学ぶ事ができました。

5. 研修に参加して、明日からの業務に活かせるイメージはもてましたか。

・はい	106	(80.9%)
・どちらともいえない	16	(12.2%)
・いいえ	2	(1.5%)
・未記入	7	(5.3%)

(理由をお聞かせください)

【医師】

- ・施設で看取りに取り組む意識の高さを知る事ができました。

【歯科医師】

- ・様々な施設に歯科往診しているが、その施設によってどのようなサービス(一体型か連携型なのか等)の提供(対応)をしているか知りたかった。

【薬剤師】

- ・施設看取りの現状、テーマにある不安、気づき今をすることができました。薬剤師が直接看取りにかかわることがほとんどできないですが、多職種連携として関わればと思いました。

【看護師】

- ・看取り対応の再認識をすることができた。
- ・もっと本人らしい最期を迎える関わりについてイメージができました。
- ・看取り後の振り返りをする事はなかったが、そうすることで次の時につなげられると感じた。また、その方の最期なので、どう関わっていくかイメージできた。
- ・看取り同意書を毎月発行しご家族の意思の確認をしているというのを聞き、このような機会を設けることで、ご家族の思いを聞け、細やかなコミュニケーションを図れるため良いと思いました。
- ・患者、家族とスタッフの信頼関係があつてこそだなと思いました。信頼関係が保てるように関わっていきたいと思います。
- ・本人家族へのグリーフケアに対する意識、共有への必要性が深めていかなければならない認識
- ・今、直面している看取りと似たようなケースがあったので。
- ・看取りはやっていないが、それまでに利用者、家族の思いに寄りそい他職種で考えて介護していく大切さを学びました。
- ・もし今後看取りを取り入れることになっても今回の話や参考にしながら対応していくイメージをもてた。
- ・利用者、家族の思いも大切、その人らしい人生を支えるの基本を大切にスタッフにも伝えていきたいです。
- ・看取りまでの流れや看護師の役割を知る事ができた。ご本人やご家族との信頼関係の大切さ、多職種で関わる事の大切さを学ぶことができた。
- ・自施設で不足な部分、職員の成長になる部分を再確認した。
- ・色々な施設の話聞いて学ぶことができました。
- ・今の施設は看取りがない(以前看取りをしていた。かなり多め)

【ケアマネジャー】

- ・施設と在宅では異なる点は大きくありますが、その人らしい最期をむかえる点では共通するものがあるのではというイメージがもてました。
- ・在宅で生活する方へ紹介する際の参考にあると思います。
- ・自施設で看取り介護を実施していますが、体制が整っていないと感じました。取り組む姿勢も低いと感じたので、施設長と改めて話し合いたいと思います。
- ・本人や家族とのコミュニケーションが大切と感じた。信頼関係を作り本人や家族に寄りそえるよう努めたい。
- ・在宅支援する側として施設入所支援する時に、看取りに関する情報提供ができるから
- ・本人家族への看取りの説明タイミング
- ・看取りに関する考えを広める役割
- ・多職種連携が重要で、本人家族の望みを聞き寄りそえるようなケアができればいいなと思いました。
- ・看取りまでしてくれる施設を希望する方は多い。どのような看取りなのか、話すことができます。
- ・ケースの具体的なお話を聞く事ができ、関わる際のイメージを持つことができました。
- ・在宅の看取りについて

【相談員】

- ・利用者一人ひとりに寄りそい対応することの重要性を再確認できました。
- ・退院調整の際に案内、ご紹介するために役立ちました。
- ・スタッフへ伝えるすべが高まった。
- ・今の職場では看取りを行っていないため、すぐに活かせないため。

【介護職員】

- ・利用者様との個別支援を強めたい。
- ・自分のケアに自信をもって対応し、悔いのない看取りにつなげたいと思った。
- ・看取りを見越してのケアを行っていきたいです。
- ・人手不足の中でもできるできないが見えた部分があったので、自施設でもまだできる事を探して、よりよい看取りケアに活かしたいと思いました。
- ・その場その時の思いに寄りそうことを第一に支援していきたい。職員間での情報共有、記録、連携を強化していきたい。
- ・他施設の研修発表を活かしながら、その人一人ひとりに合わせた対応をしてきたいと思います。
- ・看取りの再認識をすることは家族にとって大切なことだと思います。情報共有の大切さを改めて認識できました。スタッフの記録、家族との連絡を残しておくことと今後に役立つ事。
- ・施設看取りに不安があったが解消した。
- ・色々な思いや考え方の看取りに携わる事が多いです。それぞれの種類の施設の看取りケアを聞く事で、さらに色々な視点からケアすることができるのではないかと思います。
- ・終末期のタイミング、家族様の意向も取り入れていく事。
- ・実際に関わった時、きちんと対応できそうと思いました。
- ・イメージはもてましたが、実際に自分が対応できるか少し不安があります。
- ・ご家族とのコミュニケーション重要性
- ・本人の思いにそった対応について、何が良いのか考える良いきっかけになりよかった。
- ・看取りケアを行う上で職員への指導の仕方の参考になった。
- ・今後も利用者さんに寄りそえる関わりをしていきたい。
- ・グリーフケアは終わった後の印象が強かったが、亡くなる前からという考え方はとても利用者にとって寄りそえるし、よりよいケアができると思う。今後の看取りケアに生かしていきたい。
- ・多職種連携、チーム大事だなと。家族、本人との関わり方も考えたいと思いました。
- ・ご家族とのコミュニケーションの取り方
- ・素敵なエピソードを残す。
- ・職員と家族と情報共有する。本人が元気なうちに、どんな事が好きか好きな服などを知り、看取りになった時に対応していく。
- ・看取りはしていないが家族とのコミュニケーションがどのケアにも大切だと思った。
- ・まず看取りを開始するための準備が大切だと感じました。

- ・ 介護部門カンファで発信、皆で勉強会を行いたいと思います。
- ・ 施設間における課題共有や家族対応、また看取りそのものに対する姿勢等、取り組みたいイメージがたくさんあった。
- ・ 誰のために、誰のための看取りなのかが改めて自分で理解したので、職員に伝えられると思う。
- ・ 看取りケアを行っている利用者に更に関わりをもとうと思った。
- ・ 明日何があるかわからない事を今後認識して、業務にあたりたいと思います。
- ・ ほぼ同じ対応を行っている。
- ・ 看取りとは関わりのない部署なので、活かせるかはわかりませんが、とても参加してよかったです。
- ・ 看取りのためのカンファレンスが全然できていないが、会社が会議の時間をくれない、話し合いができていないのがくやしい。
- ・ 現時点で、職員不足で実務できる気がしません。

【リハビリスタッフ】

- ・ すぐには難しいですが、できる取り組みを取り入れていきたいと思いました。利用者様毎に異なる取り組みを様々きけてよかったです。
- ・ リハビリスタッフとして、看取りに関わる機会もあるため、まずは職員、家族、本人とのコミュニケーションをしっかりとることを意識していきたい。
- ・ 訪看でリハビリをしているので看取りの状態ではなくても、その人らしく過ごせるように関わらせていただきたいと思います。終末期の方のリハビリも時折あるので、ご本人の意向にそって対応したいと思いました。
- ・ 自宅に帰る際の動画をDVD化して家族に渡すことがよいと思った。ためしてみたいと思う。
- ・ 明日も酸素4リットル/分で投与されている方がCO2ナルコーシスの状態で苦しんでいるから

【管理栄養士】

- ・ ご家族、ご本人の思いによりそって聞いてケアに活かしていきたい。
- ・ ご本人の意向をしっかりと聞く事、家族が何を求めているのか聞き、一緒に考えていくこと。自分の専門分野の知識が押しつけにならないようにしたいと感じました。

【事務員】

- ・ これから相談業務を行う上で、少しでもイメージを反映させていけるとと思います。
- ・ 事務職なので、直接のケアができないので。

【その他】

- ・ 当施設では行っていない取り組みを行っている施設内での頑張りを知る事ができた。介護施設ごとの役割がある事を改めて学んだので、自分立ができる事を頑張っていきたいと感じました。

6. 今後「看取り」に関する研修で、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。

【薬剤師】

- ・ 研修会を続けていただきたいと思います。勉強させていただきます。

【看護師】

- ・ 意思決定
- ・ 穏やかにACPを行うにあたって
- ・ グリーフケアについて
- ・ 看取り前24時間～亡くなるまでの細かい事例等を知れたら嬉しいです。
- ・ 他施設でのデスカンファレンスやグリーフケアについて
- ・ 急変時の対応、家族への説明
- ・ 看取りを取り組んでいる事業所が集まり、ディスカッションする機会があればよいと思います。
- ・ 看取りケアのICの判断は何でしょう。どういうICを段階として踏んでいくのか知りたい。
- ・ 取り組みについて更に学びを深めたい。
- ・ どのようなテーマでも興味はあります。

【ケアマネジャー】

- ・ 医師、介護の多職種連携した事例発表をしてほしいです。看取り時における口腔ケアなど

- ・ 介護職員、看護職員のモチベーションの保ち方、家族との接し方。
- ・ ACPの実施事例
- ・ 在宅での看取り、訪問診療との連携。ケアマネとしての家族との関わり方。
- ・ もっと多くの施設看取り、在宅看取りの違いや考え方、視点など
- ・ 困難事例など、どのように解決していったか
- ・ 家族に対する対応や食事について
- ・ 在宅での看取りの具体的な支援について
- ・ 多職種との連携や情報共有のあり方、各部署の家族に対しての関わり方。
- ・ 各施設の事例発表はとても学びになる。介護職員の気持ちや行ってきたことをメインでききたい。
- ・ 普通の生活から「看取り」へに移行期。本人家族への支援の仕方について

【相談員】

- ・ 在宅での看取り支援
- ・ 多職種との連携時の具体的な課題、問題として話し合われた事例
- ・ 施設種別ごとにグループワークしたいですね
- ・ 情報の共有を実際どのように行っているか（職員間や家族との）
- ・ 今回のような事例が多いと、大変わかりやすい内容でした。
- ・ 医師からのお看取りの視点や、どのような状態で終末期ケアに移行していくのか（医師の判断）住宅サービスなどに、どのように対応してほしいのかなど知りたいです。

【介護職員】

- ・ 直接看取った経験のない人の不安
- ・ 看取りケア時の苦悩、困難時、グループワークのような形で意見交換や対談をしたい。
- ・ 苦痛のないケア、その人らしいケアとは？具体的に知りたいです。
- ・ 入居時に看取りに関して決められている方もいて、そうでない方もいます。いざ入院となった際に家族自身も本人の意向を聞かれていない方も多いです。
- ・ 自分らしさについて
- ・ もう少しくわしく具体的な看取りについて
- ・ 今回の形式で大変満足しました。
- ・ グリーフケアへの取り組みについて
- ・ 動画を取り入れた事例がわかりやすかった。今後も動画を取り入れた看取りについての事例をみたい。
- ・ リハビリの内容や考え方など
- ・ シンフォニー施設長よりあった、スタッフの不安とは？どう解消していったか、色々な事例をきいてみたい。医療スタッフがほしい情報、どう伝えるといいのか、どう連携していくのが必要なのか知りたい。
- ・ 看取り時の介護と医療の具体的な連携例
- ・ 看取りになった後にやってきた事の事例をもう少し詳しく事例を知りたい。エンゼルケアはどうやっているか、観察のポイント
- ・ 看取りをするまでのプロセスをくわしく知りたい。看取りを終えた後など
- ・ 看取りのケアプランの生かし方を知りたい。何が必要か。
- ・ 老健に特化した看取り、また亡くなった後のグリーフケアを学びたい（ターミナルケア）
- ・ 事例発表ではなく講師の話が聞きたい。

【リハビリスタッフ】

- ・ 具体的な取り組み例を色々聞きたいです。制度的なお話
- ・ 実際の症例について
- ・ 「看取りを行うタイミングについて」少しでも動ける、話せる頃なのか、まったく動けず全介助になってからなのか

【事務員】

- ・ グループホームならではの看取りなどがあったら、お願いします。

7. その他, ご意見等がございましたらご記入ください。

【歯科医師】

- ・ ご遺体はケアの成績表に「口腔内の汚れが目立つようでは」というところが響きました。

【薬剤師】

- ・ 勉強になりました。ありがとうございます。

【看護師】

- ・ 発表者の方, お疲れ様でした。
- ・ 大変勉強になりました。参加できてよかったです。
- ・ 高齢化社会であるので, 看取りが多くなってきていることは良いことであると思います。「本当にここでよかった」といわれるように日々頑張ります。
- ・ ユニットタイプの施設で看取りをした際, 同ユニットの他利用者への配慮はどのようにしているのか聞いてみたいです。
- ・ とても有意義な研修会でした。

【ケアマネジャー】

- ・ 各施設の皆さんが, どのような思いで看取りに取り組まれているかわかりました。苦労や喜びなど, 様々な勘定の中で大変なことだと思いました。ももハウスの五島軒のエピソード, 本当に素敵でした。
- ・ 失敗ケースもききたい

【相談員】

- ・ 感謝いたします。

【介護職員】

- ・ また参加します。
- ・ 座長の先生のアドバイスがとてもわかりやすかったです。
- ・ 機会があれば又研修に参加したいと思います。
- ・ 施設それぞれの看取りの話をきけて良い研修でした。
- ・ 色々な体験をする事ができよかった。各施設の特徴からの看取り方を学べてよかったです。ありがとうございます。

【リハビリスタッフ】

- ・ 令和8年4月17日北海道新聞にて本人の意向に反した訓練は本人の尊厳を侵害すると話しています(東洋大:高野教授)看取り期に本人の意向は確認できなく, 本人のことを思ってリハビリをすることは当施設では不適切ケア, 虐待と言われています。
- ・ 川口先生のお話がやわらかく内容や解説がとてもわかりやすかったです。「日々の寄り添う形を丁寧に行うことが大切」看取りは特別ではないということが理解できました。

【管理栄養士】

- ・ ありがとうございます。

【事務員】

- ・ グループホームならではの看取りなどがあったら, お願いします。
- ・ 看取りにたずさわるようになり約半年のためイメージも具体的に沸かせることができなかったのですが, 今回を機に関わる施設との情報共有, アプローチの方法を考えてみようと思えました。ありがとうございます。

【その他】

- ・ 講演を行っていただいた皆様, 貴重な時間をいただきました。ありがとうございます。